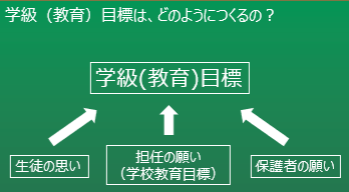
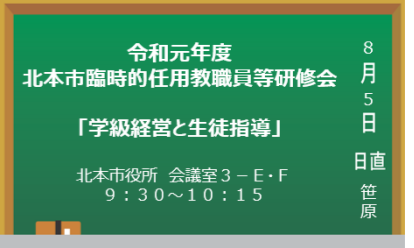


※文字の大きさは Meiryo UI / 12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。
 ※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

| | |
|---|---|
| <p>研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート</p> <p>※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</p> | <p>※事務局記入欄</p> <p>受理No. : D-51</p> |
| <p>【学校名・氏名】 北本市教育委員会・笹原伸一（H30 北本市立東中学校）</p> | <p>【応募部門】 校内研修プログラム</p> |
| <p>【修了研修名】 平成 30 年 第 4 回 中堅教員研修</p> | <p>開発・実践部門</p> |
| <p>【活動名】 若手教員育成研修会 ～ 子供一人一人が輝く学級経営 ～</p> | |
| <p>解決すべき課題：（時代の背景を踏まえて）</p> <p>平成 29 年 3 月、新学習指導要領が公示された。これまでも約 10 年ごとに改訂を続けてきたが、今回の改訂の基本的な考え方として以下の 3 つが挙げられる。</p> <p>① 子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成し、その資質・能力と何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること。</p> <p>② 現行の学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質を高め、確かな学力を育成すること。</p> <p>③ 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。</p> <p>また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、「学びの地図」、「カリキュラムマネジメント」等のキーワードからこれからの時代を生きる子供たちを育てていく指針として挙げられている。</p> <p>その中で、「学級経営の充実」はより一層重視されたといえる。それは、小・中学校ともに「学級経営」に関する内容の記述が増えていることからもうかがえることである。特に、中学校学習指導要領「第 1 章 総則」の「第 4 の 1 生徒の発達を支える指導の充実」の中に学級経営の充実について下記の内容が新設された。ここでは、「学級経営を行う上で最も重要なことは学級の生徒一人一人の実態を把握すること、すなわち確かな生徒理解である。」「学級担任の教師は、校長や副校長、教頭の指導の下、…他の教職員と連携しながら学級経営を進めることが大切であり、…」と明記されている。今、全国はもとより、埼玉県、北本市においても、若い教員が多く採用されている。今後数年は同様の傾向が続くとみられている。私は、このような時代に、子供一人一人に寄り添った教育に取り組むことのできる教員の育成が課題であるとともに、学級経営力の向上につとめ、子供一人一人が輝く学校づくりにつなげたいと考えた。</p> | |
| <p>目標・方針：</p> <p>【課題】 子供一人一人に寄り添った教育に取り組むことのできる教員の育成</p> <p>この課題を解決するために、教員に求められる資質・能力について考える。平成 17 年 10 月に出席した中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」において、「優れた教師の条件」が以下のよう示された。</p> <p>① 教職に対する強い情熱 教師の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感などである。また、教師は、変化の激しい社会や学校、子どもたちに適切に対応するため常に学び続ける向上心を持つことも大切である。</p> <p>② 教育の専門家としての確かな力量 「教師は授業で勝負する」と言われるように、この力量が「教育のプロ」のプロたる所以である。この力量は、具体的には、子どもの理解力、児童・生徒指導力、集団指導の力、学級作りの力、学習指導、授業作りの力、教材解釈の力などからなるものと言える。</p> <p>③ 総合的な人間力 教師には、子どもたちの人間形成に関わる者として、豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法をはじめ対人関係能力、コミュニケーション能力などの人格的資質を備えていくことが求められる。ま</p> | |

| |
|--|
| <p>た、教師は他の教師や事務職員、栄養職員など、教職員全体と同僚として協力していくことが大切である。</p> <p>この答申において、「集団指導の力」、「学級作りの力」は、まさに学級経営を実践する力の中核だといえる。学習指導要領総則において、「学級経営の充実は、生徒理解に基づく教師と生徒との信頼関係や、生徒同士の信頼関係が重要であり、学級活動における自発的、自治的な活動が重要な意味をもつ」と書かれている。また、学習指導要領解説の特別活動編「第 2 章第 2 節 2 の（2）学級経営の充実と特別活動」が新設され、「学級経営は、特別活動を要として、計画され…」と明記された。</p> <p>【目標】 子供一人一人の「よさ」を輝かせることができる教員の育成 【本課題を解決する手立て】 特別活動を基盤とした学級経営の充実とした。実施計画を 本研修終了後、 （人事異動に伴い）</p> <p>A. 自校（北本市立東中学校）での若手教員研修会の実施 B. 市内での臨時教員研修会の実施 とした。</p> |
| <p>活動内容</p> <p>A の実践（自校の若手教員への「年度当初の学級経営について」）4 月当初（春季休業中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級経営とは ○理想の学級づくりについて ○学級教育目標の設定について ○年度当初の学級経営（学級活動を基盤にした学級経営） <ul style="list-style-type: none"> ①「出会い」づくり（ア. 学校 イ. 担任 ウ. 仲間） ②「理想・めあて」づくり（学級活動（2）題材 ○年生になって） ③学級活動（1）『学級会』で生徒の思いや願いを生かした学級経営へ <p>※参加者と協議・授業準備をしながら、「個」を生かしていく学級経営について研修を行った。</p>  <p>B の実践（市内の臨時的任用教職員等研修会への「学級経営と生徒指導について」）8 月上旬</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級経営とは ○学級経営と生徒指導について ○学級経営と学力との関連について ○学級の風土について（支持的風土・防衛的風土） ○自己指導能力の育成について ○生徒指導における鉄則 5 について ○2 学期の学級経営について（ストーリーを描く学級経営を） ○子供一人一人のよさを輝かせる学級経営を目指して <p>※参加者の 1 学期の振り返りと協議を図りながら、「個」を生かしていく学級経営について研修を行った。</p>  |
| <p>活動の成果：（受講者の感想より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供一人一人の「個」を生かすということの意味が分かった。 ・（問題のない学級）≠（よい学級）ではなく、問題が起きたときに、担任として子供に寄り添い、納得のいく解決を共に考えていく姿勢が大切だと分かったので、明日からの学級経営につなげたい。 <p>※成果として、子供たちにどのような影響があったかまでの見取りはできていないが、子供一人一人の「よさ」を生かそうとする教員を増やしていくという点については、一定の成果があったといえるのではないかと。</p> <p>アピールポイント（アイデアや工夫）：効果的な学級経営を図ることができるよう実施時期を考慮</p> <p>A の実践においては、4 月当初（始業式前）に実施。…初めての担任や経験の浅い担任への内容 B の実践においては、夏季休業中に実施。…1 学期の経営をチェックし、2 学期につなぐための内容</p> |